

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 8 第 2 4 号	受理年月日	令和 8 年 6 月 8 日
件 名	中東情勢に伴う建設資材等への対応を求める陳情		

【陳情の趣旨】

現在、中東情勢の悪化を背景に、原油・ナフサを原料とする建設資材や関連資材において、急激な価格高騰と供給不安が広がっています。断熱材、防水材、塗料、シンナー、塩ビ製品、屋根材など多くの資材で、価格改定や受注制限、納期調整、生産停止などが相次いで通知され、現場では「見積もりができない」「契約済み工事でも採算が崩れる」「材料が入らず工期が読めない」といった深刻な声が広がっています。実際に、断熱材や防水材、塩ビ製品などで大幅な値上げが示され、シンナー不足や受注制限、納期調整の実施も確認されています。

とりわけ東京では、住宅建設・リフォーム需要の規模が大きく、今回の資材価格高騰と供給停滞は、住民の生活と中小事業者の経営に直接大きな影響を及ぼします。このままでは、工事遅延や契約トラブル、資金繰り悪化、倒産などにつながるおそれがあります。建設業は「衣・食・住」の「住」を担い重要なインフラに関わり、様々な自然災害の防災・減災に重要な役割を果たしています。地域に建設事業者と従事者がしっかりと存在している事が重要となっています。

つきましては、目黒区として下記事項を緊急に講じるよう要請いたします。

【陳情事項】

1 建材流通の目詰まりの早期解消に向け、関係団体・関係機関と連携して対応すること

シンナー、断熱材、防水材、塩ビ管・継手など、現場停止や工期遅延に直結する資材について、流通の停滞が長引かないよう、メーカー、流通業者、業界団体、国や都の関係機関等との情報共有を強め、供給状況の把握と早期の目詰まり解消に向けた対応を進めてください。

この流通の問題は建設業のみにとどまらず、観光・物流・医療・農林水産業・製造業など多くの産業へ、広範囲に複合的な影響があります。

また、目詰まりを理由に資材価格の大幅値上げと言った事態も起こっています。目詰まりの解消と価格を戻すことを連動してもらわないと納期遅れなど事業者のみならず国民にも影響しております。

緊急かつ中長期的に、特段のご対応を切にお願い申し上げます。